

ダイジェスト版

複式簿記から 公認会計士の世界へ

名古屋商科大学

2017年6月6日

公認会計士・監査審査会 会長

廣本 敏郎

本日の構成

- 会計なくして経済なし
 - 市場経済のインフラとしての複式簿記
 - 現代経営の中枢を成す会計
- 市場経済とモラル
- 社会的使命を担う公認会計士
- 公認会計士に対する社会の期待

I. 公認会計士とは “監査”及び“会計”の専門家

公認会計士の使命

>>> 公認会計士は、国家試験である公認会計士試験に合格した者だけに与えられる資格であり、公認会計士法にその使命等が規定されています。

《公認会計士法1条》

公認会計士は、監査及び会計の専門家として、独立した立場において、財務書類その他の財務に関する情報の信頼性を確保することにより、会社等の公正な事業活動、投資者及び債権者の保護等を図り、もって国民経済の健全な発展に寄与することを使命とする。

会計なくして経済なし

>>> 公認会計士は、グローバル化が急速に進む日本経済の健全な発展のために、監査人、コンサルタント、組織内会計士など、経済社会の様々な局面で、きわめて重要な役割を果たすべく幅広く活躍しています。

MISSION
ミッション
資本市場の番人として、企業等の財務情報の信頼性を確保し、投資家等を保護しています。
● 企業が作成する決算書の検証

CPA 公認会計士
Certified Public Accountant

PROFESSIONAL
プロフェッショナル
監査・会計の専門家として、高度な専門知識を活かし、多様なニーズに応じて専門的な視点から助言・指導を行っています。
● 株式公開支援 ● M&A ● 組織再編
※このほか、税理士として登録を行うことにより、税務業務を行うことができます。

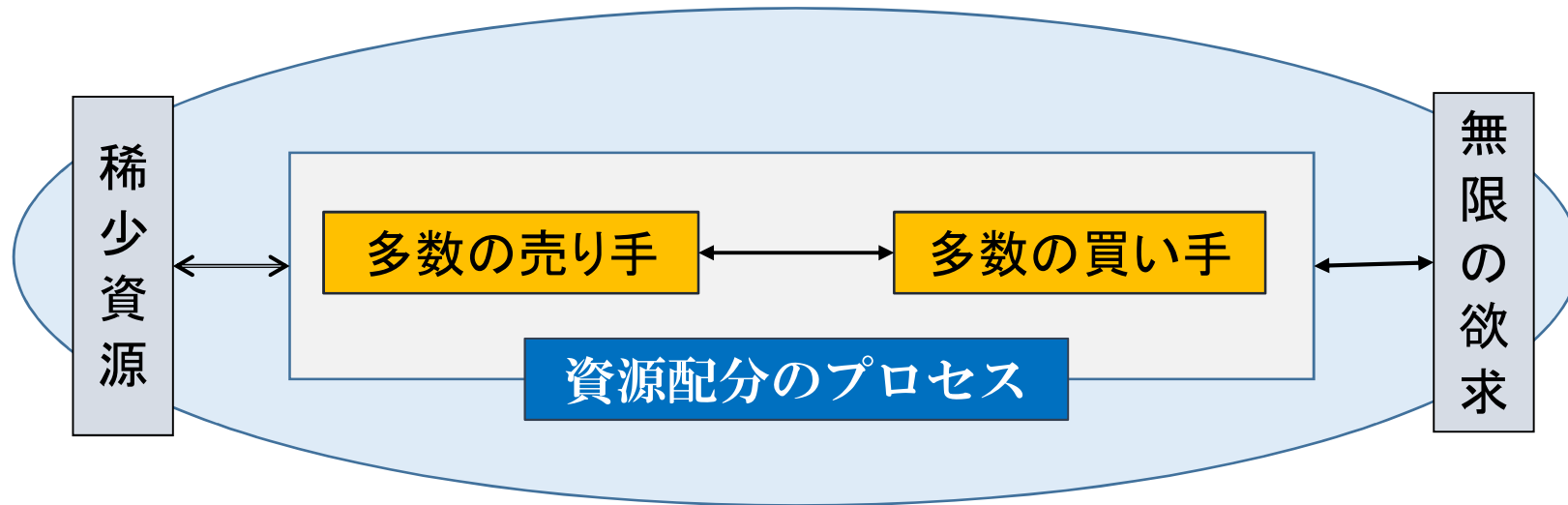
GLOBAL
グローバル
金融・資本市場のグローバル化、企業の海外展開等に伴い、活動のフィールドは世界に広がっています。
● グローバル経営戦略の策定
● 海外子会社を含むグループ決算

受験願書のインターネット受付が始まります

平成29年公認会計士試験第1回短答式試験からスタートするインターネット受付では、自宅のパソコンなどで、出願手続きを行うことが可能となり、郵送での手続きは不要となります。また、受験手数料の支払いについても、ネットバンキングやATMで行うことが可能となります。（従来どおり、収入印紙を貼付した受験願書の郵送による出願も可能です。）
手続きの詳細については、今後、公認会計士・監査審査会ウェブサイトで公表していく予定ですのでご確認ください。

市場経済の制度

—市場参加者の自由競争—

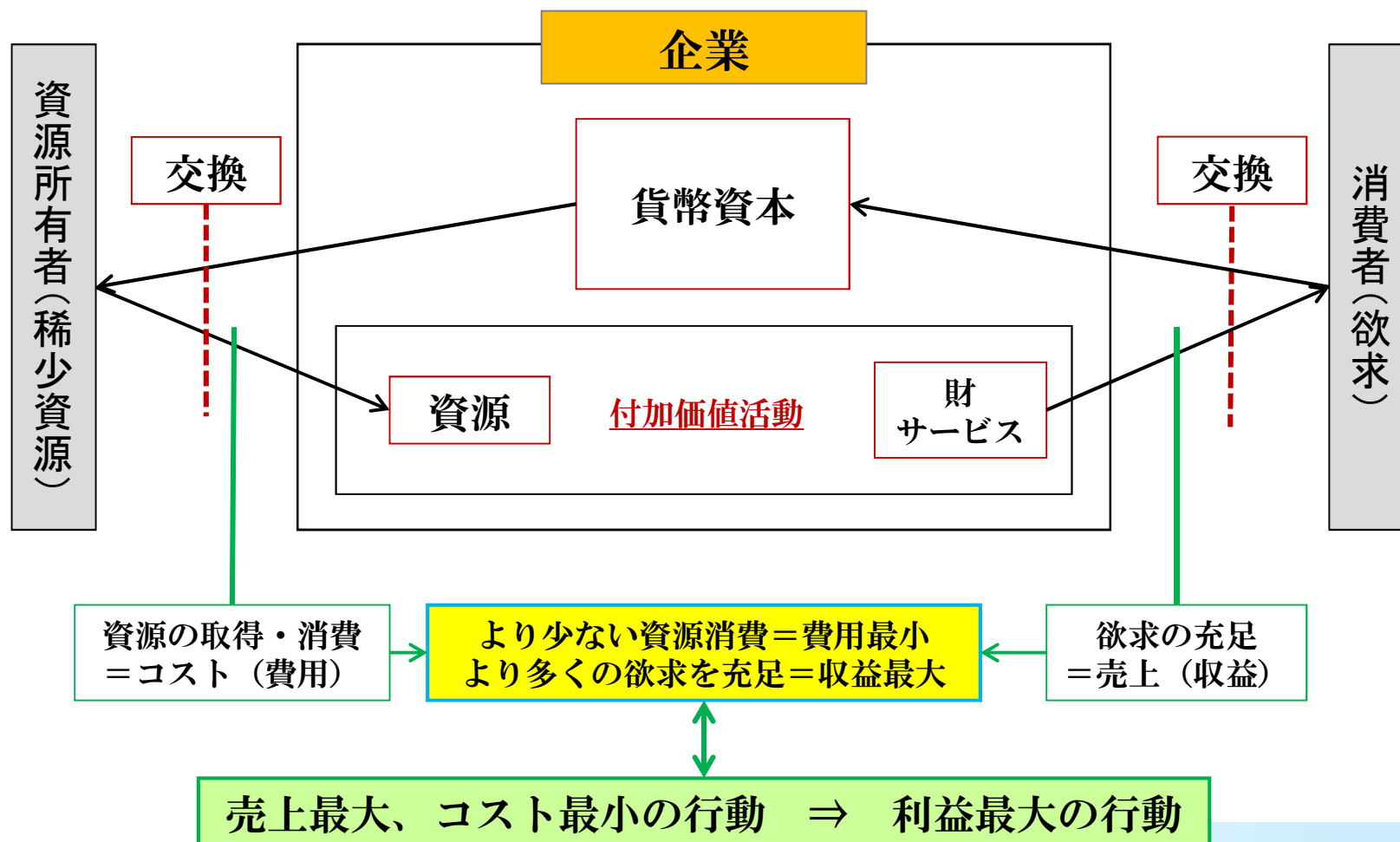


よい財・サービスを求める買い手と、その財・サービスの売り手とは、それぞれの私欲がぶつかって市場で競合し合い、その競争の中から、人々が欲するよい財・サービスを安く供給し得た企業が生き残っていく。

この基本的な論点を分析的に明らかにしたのがアダム・スミスの経済学であり、それが自由主義経済の基礎となった。

(今井・金子『ネットワーク組織論』岩波書店、1988年)

簿記会計による企業活動の見える化



現代経営の中枢を成す会計

～稲盛和夫『実学—経営と会計』より～

- ・ 日本経済は成熟化し、成長神話は崩れ去り、複雑なグローバル経済の中に組み込まれている。このような時代においては、経営者は、自社の経営の実態を正確に把握した上で、的確な経営判断を下さなくてはならない。そのためには、会計原則、会計処理にも精通していることが前提となる。
 - － ところが日本では、それほど重要な会計というものが、経営者から軽視されている。会計と言えば、事業をしていく過程で発生した金やモノにまつわる伝票処理を行い集計をする、後追いの仕事でしかないと考えている。 (続く)

現代経営の中枢を成す会計（続）

- 経営者にとって必要なのは、結果として「いくら利益が出たか」であり、会計の処理方法は専門家が分かっているだけでよいと思い、更に、会計の数字は自分の都合の良いように操作できる、と考えている経営者さえいる。
 - － 私は京セラを創業、ゼロから経営を学んでいく過程で、会計は「現代経営の中枢」を成すものであると考えるようになった。企業を長期的に発展させるためには、企業活動の実態が正確に把握されなければならないことに気づいたのである。（稲盛和夫『実学』日本経済新聞社、1998年、2-3頁）

アダム・スミスが描いた市場経済

- 経済の世界は、「自分自身の境遇を改善せんとする欲望」によって導かれている世界である…利己心というものが経済という世界の原動力である…
- （しかし）スミスによると、この利己心というものは、めいめいが何でも勝手放題なことをしてよろしいというのではなく、そこに一つの社会性がなければならないということになっている。社会的な枠のない、無軌道な、勝手気ままな欲望の追求というものは、人間の行為でもなければモラルでもない。

（高島善哉『アダム・スミス』岩波新書、1968年、76頁）

経営・会計の公的責務

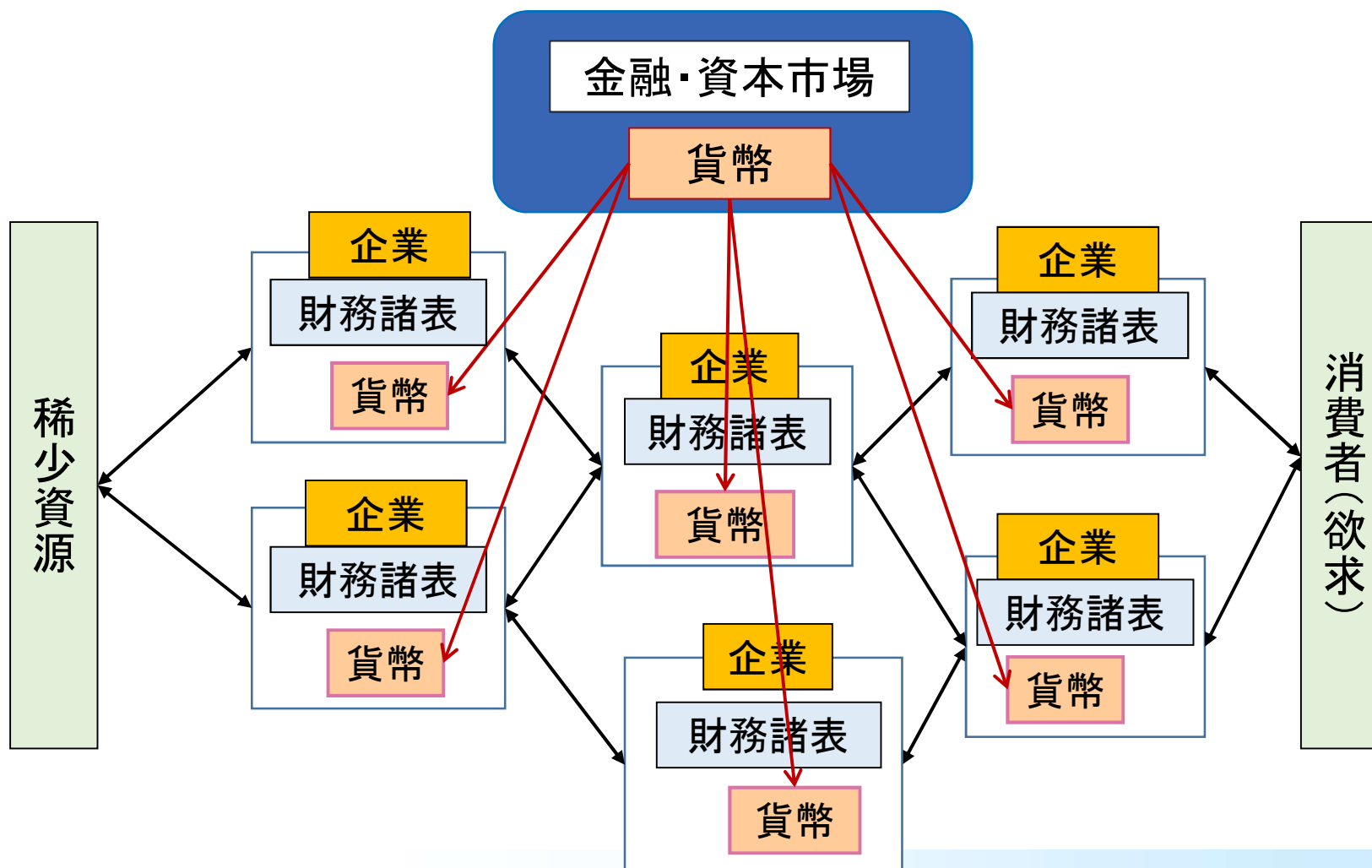
- 自由を基調とする市場経済は、人間の利己心、欲望を原動力とするため、イノベーティブかつサステイナブルであるが、非常にコントロールの難しい制度である。
 - そのため、古くから、経済人あるいは実業家には、道徳心、モラルが強く求められてきた。
 - 実際、経営の公的責務を強く認識し、これを実践してきた企業経営者は少なくない。

経営・会計の公的責務（続）

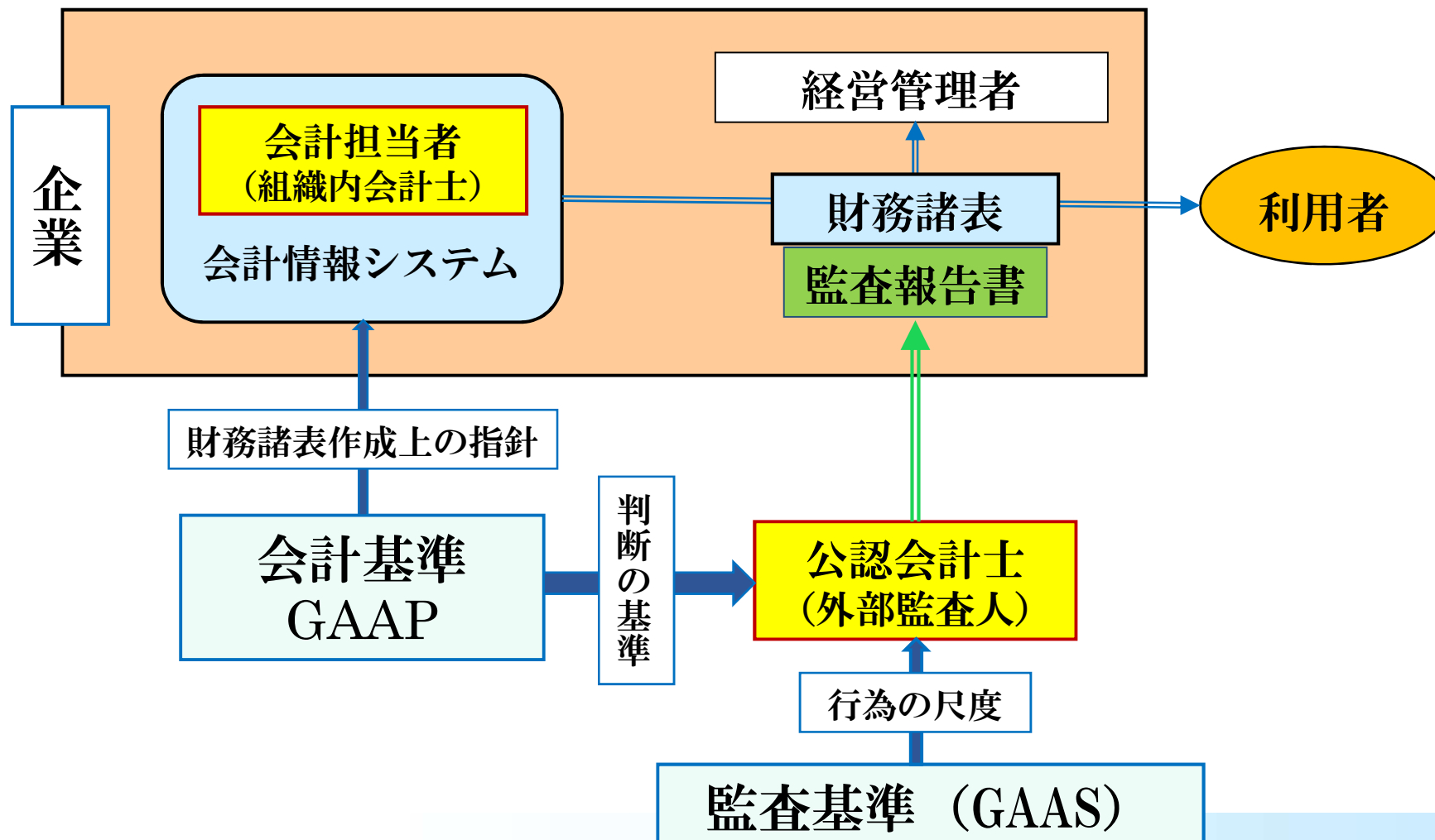
- しかしながら、現実には適格性を欠く経営者の種は尽きず、不正会計も繰り返されてきた。
 - この問題は、グローバル競争が激化して、人徳が軽視され、能力ばかりが重視される傾向が目立つ現代の経済社会で、ますます重大かつ深刻な問題となっている。

（「月刊 監査役」2016年9月号、羅針盤より）

金融・資本市場における財務情報の重要性



財務情報の信頼性確保のシステム ～公認会計士の重要性～



会計プロフェッショナルの社会的責任

- 会計に携わる人間には、会計人としてのプライドと責任感を持ってほしいと思います。
 - － 経営者が何としてでも売上を増やせ、利益を増やせと言ったとしても、経理部長等の立場の方々が、「それはできません」「それは不正行為です」と毅然とした態度で拒否していれば、防ぐことができたケースも少なくないと思うのです（現に、身を挺して歯止めの役割を果たした経理部長等もたくさんいます）。

（浜田康『会計不正』日経ビジネス人文庫、
2008年、101-102頁）

会計プロフェッショナルの社会的責任（続）

- 監査人は、粉飾決算の防止・発見のために誠心誠意努力をしています。私自身、監査という仕事に誇りを持ち、監査人が粉飾決算の防止・発見をせずに誰がするのだという気概で取り組んでいました。
 - － すぐに監査の限界論を口にするような公認会計士は、監査を辞めればいいのです。もっと気概のある、もっと情熱のある若手の公認会計士にどんどん重要な仕事を担ってもらって、日本の監査や、日本の財務諸表の信頼性を胸を張って誇れるようになってもらいたいと思います。

（浜田康『粉飾決算』31-33頁）

日本公認会計士協会HPより

- 1949年に東京、大阪、名古屋をはじめとする8箇所
所に証券取引所が開設、1951年、証券取引法に
基づく公認会計士監査が開始された。
 - － 以後、証券市場の拡大とともに公認会計士監
査の重要度は増し、公認会計士法の改正が加
えられてきた。1966年には、企業の事業活動
の大規模化に対応する組織的な監査を行うた
め、監査法人が誕生。1967年には学校法人監
査、1974年には商法に基づく公認会計士監査
導入など公認会計士への要請は証券市場だけ
でなく社会全般に拡大されていった。

金融行政方針 平成28年10月 金融庁

- 監査業務を担う公認会計士という職業に関心を持つ者の拡大を図るため、会計監査や公認会計士資格に関し、高校生等若年層や女性に向けた広報活動を、日本公認会計士協会等と連携して推進する。（15頁）
- 金融庁・日本公認会計士協会 作成パンフレット
公認会計士・試験合格者の活躍フィールド（2016年8月）
 - 公認会計士は、監査法人で勤務するだけではありません。監査業界に限らず、社会のさまざまな場面で会計専門家の知識・経験・判断力が必要とされています。

社会から信頼される公認会計士

- 公認会計士の活躍領域は、今日ますます経済社会のさまざまな分野に広範に広がっていますが、それは、これまで先人たちが高品質の監査を提供し、その社会的使命を立派に果たし、社会から高い信頼を得てきたからです。会計監査が今後とも引き続き社会から信頼を得ていくためには、急速に変化する経済社会の中で、経営者、監査委員会、規制当局、一般市民等を含む社会からどのように認識されているかに絶えず注意を払い、社会の期待に応えていくことが求められます。

（廣本「グローバルな監査品質の向上を目指して」

『会計・監査ジャーナル』2016年8月号、3頁）

**公認会計士は、皆さんの未来の
魅力ある選択肢の1つです。**

**自分が向かうべき将来に向かって
悔いのない大学生活を送ってください。**

公認会計士・監査審査会 廣本敏郎